

令和7年度学校評価の結果と分析について



上尾市立太平中学校

校長 宮田 純生

令和8年1月8日

1 教職員自己評価から

教職員が学校の現状についての33項目について、4：たいへんよくできた 3：できた 2：やや課題がある 1：課題がある の4段階に分け、評価をした平均値となります。第1回は7月、第2回は12月に実施しています。

(1) 自己評価一覧

No.	内容	第1回	第2回	増減
1	学校は、学校教育目標具現化のために、目指す学校像を定め組織的・計画的に教育活動に取り組んでいる。	3.38	3.37	-0.01
2	学校は、分掌組織が機能し、計画的で効率的な学校運営がなされている。	3.17	3.08	-0.09
3	学校は、教育課程に基づき適切な教育活動が推進されている。	3.63	3.50	-0.13
4	学校は、校長が示した今年度の重点に学校全体で組織的に取り組んでいる。	3.42	3.34	-0.08
5	学校は、学力向上プラン、シラバスに基づき計画的・継続的に学力の向上が図られている。	3.42	3.42	0
6	学校は、生徒に、基礎的・基本的な学力の向上を行っている。	3.33	3.29	-0.04
7	職員は、主体的・対話的で深い学びとなる授業を行っている。	3.21	3.29	0.08
8	職員は、適切な評価に基づき生徒を評価し評価規準に達しない生徒への支援が適切に行っている。	3.33	3.42	0.09
9	職員は、タブレット端末やデジタル教科書などICTを活用した授業を必要に応じて展開している。	3.54	3.50	-0.04
10	職員は、生徒に学ぶ意欲を持たせ学習に取り組ませている。(家庭学習を含む)	3.17	3.12	-0.05
11	学校は、太平ノート(RainbowPlan)をもとに職員の共通指導が行われている。(生活のきまり、授業スタイル)	3.21	3.42	0.21
12	職員は、情報共有を図り組織で生徒指導、教育相談に取り組んでいる。	3.54	3.29	-0.25
13	職員は、カウンセリングマインドを持って生徒に対応している。	3.54	3.54	0
14	学校は、道徳的な価値の理解に基づき生徒の道徳性を高める教育を行っている。	3.63	3.50	-0.13
15	学校は、いじめの根絶を目指し取り組んでいる。(早期発見・早期対応)	3.38	3.50	0.12
16	学校は、不登校生徒への支援を適切に行っている。(関係職員・機関との連携)	3.29	3.37	0.08
17	学校は、食育や健康教育、保健指導を通して、生徒の心と身体の健康の保持増進を図っている。	3.08	3.33	0.25
18	学校は、体育活動、部活動、学校行事を通して生徒の体力向上を図っている。	3.25	3.38	0.13
19	学校は、安全指導や防災教育に積極的に取り組んでいる。	3.46	3.42	-0.04

20	学校は、ボランティア活動や体験的な学習に積極的に取り組んでいる。	3.08	3.29	0.21
21	学校は、探求的な学習に積極的に取り組んでいる。	3.00	3.17	0.17
22	学校は、進路指導・キャリア教育に積極的に取り組んでいる。	3.21	3.29	0.08
23	学校は、ユニバーサルデザインを考慮した教育活動が展開されている。	3.29	3.17	-0.12
24	学校は、一人ひとりの多様性を尊重した教育活動が展開されている。	3.25	3.17	-0.08
25	学校は、清掃活動や環境整備を積極的に行い、きれいな学校づくりが行われている。	2.96	3.37	0.41
26	学校は、安全点検が定期的に行われ危険個所の補修等が適切に行われている。	3.50	3.50	0
27	学校は、生徒の活動や成長の記録がわかる掲示等が行われ、学習にふさわしい環境が維持されている。	3.75	3.54	-0.21
28	学校は、学校だより、HP等を活用して保護者や地域に積極的に情報を配信している。	3.75	3.67	-0.08
29	学校は、学校運営協議会を活用し、地域等と連携した教育活動を推進している。	3.71	3.63	-0.08
30	学校は、校区内の小学校と連携し一貫教育を推進している。	3.08	3.29	0.21
31	学校は、働き方改革を進め、働きやすい労働環境づくりに努めている。	2.71	2.71	0
32	職員は、教育公務員としての専門性を高め、指導力の向上を図るため研修等に熱心に取り組んでいる。	3.33	3.21	-0.12
33	職員は、サービスの厳正を図り、県民に信頼される職務態度で校務を行っている。	3.71	3.42	-0.29

(2) 中間に比べ数値が増加した項目の中で顕著なもの+0.15以上となった項目

No.	内容	第1回	第2回	増減
11	学校は、太平ノート(RainbowPlan)をもとに職員の共通指導が行われている。(生活のきまり、授業スタイル)	3.21	3.42	0.21
17	学校は、食育や健康教育、保健指導を通して、生徒の心と身体の健康の保持増進を図っている。	3.08	3.33	0.25
20	学校は、ボランティア活動や体験的な学習に積極的に取り組んでいる。	3.08	3.29	0.21
21	学校は、探求的な学習に積極的に取り組んでいる。	3.00	3.17	0.17
25	学校は、清掃活動や環境整備を積極的に行い、きれいな学校づくりが行われている。	2.96	3.37	0.41
30	学校は、校区内の小学校と連携し一貫教育を推進している。	3.08	3.29	0.21

①数値が高くなった原因

- ア No.11「学校は、太平ノート（RainbowPlan）をもとに職員の共通指導が行われている。（生活のきまり、授業スタイル）」については、年度当初、年度途中での職員の見直し点検を行った。
- イ No.17「学校は、食育や健康教育、保健指導を通して、生徒の心と身体の健康の保持増進を図っている。」については、給食委員会による取組を行った。
- ウ No.20「学校は、ボランティア活動や体験的な学習に積極的に取り組んでいる。」についてはボランティアの集約時期と自己評価の時期が重なった。
- エ No.21「学校は、探求的な学習に積極的に取り組んでいる。」については、総合的な学習の時間の中でSDGsの取組や話し合いによる活動を重視した。
- オ No.25「学校は、清掃活動や環境整備を積極的に行い、きれいな学校づくりが行われている。」については清掃のマニュアルを見直した。
- カ No.30「学校は、校区内の小学校と連携し一貫教育を推進している。」については小中授業参観や合同の研修会を実施した。

(3) 中間に比べ数値が減少した項目の中で顕著なもの-0.15以上となった項目

No.	内容	第1回	第2回	増減
12	職員は、情報共有を図り組織で生徒指導、教育相談に取り組んでいる。	3.54	3.29	-0.25
14	学校は、道徳的な価値の理解に基づき生徒の道徳性を高める教育を行っている。	3.63	3.50	-0.13
27	学校は、生徒の活動や成長の記録がわかる掲示等が行われ、学習にふさわしい環境が維持されている。	3.75	3.54	-0.21
33	職員は、サービスの厳正を図り、県民に信頼される職務態度で校務を行っている。	3.71	3.42	-0.29

①数値が低くなった原因

- ア No.12「職員は、情報共有を図り組織で生徒指導、教育相談に取り組んでいる。」については組織的な対応に課題があり、SSRや教育相談室、保健室の役割分担を差別化し3学期から実施する。
- イ No.14「学校は、道徳的な価値の理解に基づき生徒の道徳性を高める教育を行っている。」については、小中一貫での道徳教育は進んでいるが個々の教員の道徳指導については研修が必要である。
- ウ No.27「学校は、生徒の活動や成長の記録がわかる掲示等が行われ、学習にふさわしい環境が維持されている。」については、生徒の活動がわかる掲示については掲示されているが成長の記録がわかる掲示については課題がある。
- エ No.33「職員は、サービスの厳正を図り、県民に信頼される職務態度で校務を行っている。」については、不祥事を起こす教員はいないが校務に追われている教員が多いことが原因であると考えられる。

2 教職員授業改善シートから（1学期と2学期の比較）

教職員が自分の授業について4段階（4：よく取り組めた 3：取り組めた 2：やや取り組めなかった 1：取り組めなかった）で評価し、全職員の平均値を示しています。（1学期、2学期の最後に実施しました）

領域	項目	視 点	1学期	2学期	差異
学力の 確認	学習意欲 の把握	生徒の学習意欲について把握し、個に応じた 指導計画を立てるための情報を持っている。	3.05	3.14	0.10
	学習状況 の把握	生徒一人一人の学力の学習状況を把握し、指 導計画に生かすことができるようにしている。	3.00	3.00	0.00
教材 研究	指導計画	シラバスや年間指導計画を確認し、時間ごと の指導計画を立案している。	3.29	3.38	0.10
	ねらい	学習指導要領に即した学習の目標(めあて)を 把握し、学習のねらいを決めることができる。	3.43	3.52	0.10
	見通し	学習のねらいを明確に持ち、1時間ごとの学習 の見通しを持って指導計画を立てている。	3.48	3.62	0.14
	教材準備	学習に必要な教材、教具を準備している。	3.38	3.62	0.24
	ICT	ICT機器の活用をしている。また、タブレット端 末の利用を行っている。	3.00	3.33	0.33
	評価計画	シラバスに基づいて時間ごとの評価規準を明 確にし規準に達しない生徒への支援を具体的 に考えている。	2.76	2.86	0.10
	板書計画	構造的な板書計画を考え、一時間の授業内容 が生徒に理解しやすいように計画している。	3.05	3.05	0.00
	個に応じ た指導	個々の生徒に応じた学習計画を考え、教材、 教具、支援策を準備している。	2.76	2.67	-0.10
授業	学習規律	チャイムあいさつができています。(2分前着席)	3.52	3.48	-0.05
		発表のルールや学習規律が図られている。	3.10	3.10	0.00
	ねらい	生徒一人一人が、本時のねらいや課題を理解 して授業が進められている。	3.24	3.24	0.00
		本時のねらいを板書し、本時のねらいを生徒 が把握して授業に取り組んでいる。	3.43	3.38	-0.05
	導入	生徒に興味・関心を抱かせるような導入の工 夫が図られている。	3.10	3.33	0.24
		本時の学習について生徒が何を学ぶかという 見通しを持たせることが図られている。	3.29	3.33	0.05
	基礎・基 本	基礎的・基本的な学力が定着するように授業 の中で実践できている。	3.29	3.33	0.05
		話し合い活動や発表する活動を計画的に行い 主体的・対話的な学びが進められている。	3.00	3.05	0.05

	主体的・対話的で深い学び	生徒の多様な考えを引き出し、生徒が意欲的に活動できる発問の工夫が図られている。	2.81	2.90	0.10
		教師の発問から、生徒が考える時間を十分に確保し、生徒が多様な考えを思考したり、判断したりする時間が十分にとられている。	3.10	3.10	0.00
		生徒が思考したことを表現できる時間がとられている。	3.19	3.10	-0.10
		対話的な学びを行うことで他の生徒の考え方を理解し自分の意見や考えを持つことで深い学びが行われている。	2.95	2.81	-0.14
	構造的な板書	構造的な板書ができ、1時間の内容が授業の終末に振り返ることのできる板書ができている。	2.90	2.71	-0.19
	評価と支援	机間指導を行い、生徒の学習の定着度が授業の中で把握できている。	3.33	3.29	-0.05
		評価規準に達しない生徒への具体的な支援が図られている。	2.81	2.71	-0.10
振り返り	授業の終わりに生徒の言葉で本時の振り返りが図られ、授業のまとめがなされている。	2.90	3.05	0.14	
授業後	事後の学習	1時間ごとの授業内容を検討し、次時の学習に生かしている。	3.19	3.29	0.10
	学力の把握	定期テストや単元の確認テスト等において、授業の内容に応じた内容を入れ、生徒の学力の定着度を把握することができた。	3.24	3.33	0.10
	支援	学力の身に付いていない生徒へ適切な支援を図ることができた。	2.62	2.62	0.00

(1) 結果から分析と課題

- ア 授業の見通しをもって教員が授業を行っている。
- イ 教材研究に熱心に取り組み授業を行っている。
- ウ 学力の身に付いていない生徒への支援については課題がある。
原因として考えられること
 - ア 学力差が大きい。(支援の行う学力の幅が大きい)
 - イ 時間の不足。
- エ 板書については課題がある。
原因として考えられること
 - ア タブレットの活用によるノート指導を考える必要がある。
 - イ 板書の仕方がわかっていない。
- オ 主体的・対話的で深い学びについては課題がある。
原因として考えられること
 - ア 話し合い活動が苦手と考えている。
 - イ 教員の講義形式の授業や一問一答形式の授業が多い。

3 生徒アンケートから

生徒が各項目について4段階で回答しています。(4:よくできた 3:できた 2:ややできなかった 1:できなかった) 全校生徒の平均値を示しています。

(1) 生徒アンケート一覧

No	項 目	R6	R7	増減
1	授業のルールや約束を守り、授業に臨んでいる。	3.65	3.61	-0.04
2	授業中、先生や友達の話静かに聞いている。	3.57	3.52	-0.05
3	自分の考えを言葉やChromebookなどを使って発表している。	3.33	2.83	-0.5
4	宿題や自学ノートなどの家庭学習がしっかりできている。	3.15	2.78	-0.37
5	教科の先生は、分かりやすく説明してくれている。(全体として)	3.59	3.58	-0.01
6	教科の先生は、分かるまで教えてくれる。(全体として)	3.55	3.45	-0.1
7	先生方は、頑張ったことをほめてくれる。(全体として)	3.62	3.57	-0.05
8	太平中レインボープランを意識して生活している。	3.23	3.00	-0.23
9	太平中学校での生活に満足している。	3.51	3.44	-0.07
10	時間を守って学校生活を送っている。	3.64	3.53	-0.11
11	友達を大切し、仲良く過ごしている。	3.77	3.76	-0.01
12	きまりを守り、けじめのある落ち着いた学校生活を送っている。	3.64	3.55	-0.09
13	「しっかり返事、進んであいさつ」をしている。	3.46	3.43	-0.03
14	「ありがとう」、「ごめんなさい」が素直に言える。	3.66	3.60	-0.06
15	太平ノートを毎日活用している。	2.92	2.22	-0.7
16	清掃活動にしっかり取り組んでいる。	3.64	3.65	0.01
17	クラスや学年、学校の活動や委員会、係活動に積極的に参加している。	3.51	3.38	-0.13
18	先生は生徒(自分たち)の話をよく聞いてくれる。(全体として)	3.65	3.67	0.02
19	先生は、いけないことをしたときに、きちんと注意してくれる。(全体として)	3.80	3.83	0.03
20	日頃から交通ルールを守って生活している。	3.73	3.69	-0.04

21	学校で起きたことなどを家庭でよく話している。	3.32	2.97	-0.35
22	困っていることや、悩んでいることを誰かに相談している。	3.37	3.24	-0.13

(2) R6 年度に比べ数値が増加した項目の中で顕著なもの+0.1以上

ア 0.05以上の増加をした項目はなかった。

(3) R6 年度に比べ数値が減少した項目の中で顕著なもの-0.1以上

No	項 目	R6	R7	増減
3	自分の考えを言葉や Chromebook などを使って発表している。	3.33	2.83	-0.5
4	宿題や自学ノートなどの家庭学習がしっかりできている。	3.15	2.78	-0.37
6	教科の先生は、分かるまで教えてくれる。(全体として)	3.55	3.45	-0.1
8	太平中レインボープランを意識して生活している。	3.23	3.00	-0.23
10	時間を守って学校生活を送っている。	3.64	3.53	-0.11
15	太平ノートを毎日活用している。	2.92	2.22	-0.7
17	クラスや学年、学校の活動や委員会、係活動に積極的に参加している。	3.51	3.38	-0.13
21	学校で起きたことなどを家庭でよく話している。	3.32	2.97	-0.35
22	困っていることや、悩んでいることを誰かに相談している。	3.37	3.24	-0.13

①数値が低くなった原因

- ア No.3「自分の考えを言葉や Chromebook などを使って発表している。」では、昨年度に比べ使う機会が減少していると考えている。
- イ No.4「宿題や自学ノートなどの家庭学習がしっかりできている。」については、課題を行ってこない生徒が増加している。(学習をあきらめている生徒が多い)
- ウ No.6「教科の先生は、分かるまで教えてくれる。(全体として)」については、評価規準に達しない生徒への支援を向上させる必要がある。
- エ No.8「太平中レインボープランを意識して生活している。」についてはレインボープランが形だけになっている可能性があるので具体的にしていく。3学期からは学習規律のレインボープランを生徒が考えたので実行していく。
- オ No.10「時間を守って学校生活を送っている。」については時間にルーズな生徒が増えている。2分前着席などを委員会の取組として活動していく。
- カ No.15「太平ノートを毎日活用している。」については書くことを苦手としていたり、面倒くさいと感じている生徒が増加している。

- キ No.17「クラスや学年、学校の活動や委員会、係活動に積極的に参加している。」については委員会の活動（自治的な活動）を充実させる必要がある。
- ク No.21「学校で起きたことなどを家庭でよく話している。」については保護者会で保護者への呼びかけが必要である。
- ケ No.22「困っていることや、悩んでいることを誰かに相談している。」については、相談室の利用などについて太平ノート等に記載する必要がある。

4 保護者アンケートから

項目について保護者に 5：そう思う 4：大体そう思う 3：どちらかということ思わない 2：そう思わない 1：わからないで回答していただいた平均値を示しています。わからないについては学校の情報が伝わっていないと判断し課題があると捉え、1にしています。

(1) 保護者アンケート一覧

No	評価項目	R6	R7	比較
1	学校は、家庭に学校教育目標や教育方針をわかりやすく伝えている。	3.94	4.10	0.16
2	学校は、一人一人の生徒を大切にしている教育を行っている。	4.04	4.15	0.11
3	学校は、学校だよりやホームページ、配信メールなどで積極的に情報を提供している。	4.35	4.29	-0.06
4	学校は、清掃がよく行き届き、きれいである。	4.07	4.21	0.14
5	学校は、生徒の健康や安全に十分配慮した教育活動を行っている。	3.94	4.18	0.24
6	教職員は、生徒を理解している。	3.97	4.04	0.07
7	教職員は、保護者や生徒の相談に親身になって応じている。	4.00	4.20	0.2
8	教職員は、接遇やマナーがしっかりしている。	4.19	4.34	0.15
9	学校は、わかりやすい授業を行っている。	3.94	3.67	-0.27
10	学校は、生徒の学力向上に取り組んでいる。	3.91	3.75	-0.16
11	学校は、生徒の学力を適切に評価している。	3.88	3.84	-0.04
12	生徒は、学校でしっかりと学習に取り組んでいる。(ご自分のお子さんを含めて)	3.91	3.84	-0.07
13	お子さんは、家庭学習をしっかり行うなど、学力向上に自ら取り組んでいる。	3.78	3.47	-0.31
14	学校は、思いやりの心を育てるなど、道徳教育に取り組んでいる。	4.00	3.92	-0.08
15	学校は、ルールやモラルについて適切に指導している。	4.13	4.11	-0.02
16	学校は、あいさつなど規律ある態度の育成に取り組んでいる。	4.07	4.06	-0.01
17	生徒は、規律ある態度(ルール遵守の姿勢・態度、あいさつ、礼儀等)が育っている。(ご自分のお子さんを含めて)	3.97	3.73	-0.24

18	生徒は、スマートフォンなどの情報機器を適切に利用している。(ご自分のお子さんを含めて)	3.74	3.76	0.02
----	---	------	------	------

(2) R6年度に比べ数値が増加した項目の中で顕著なもの+0.1以上

No	評価項目	R6	R7	比較
1	学校は、家庭に学校教育目標や教育方針をわかりやすく伝えている。	3.94	4.10	0.16
2	学校は、一人一人の生徒を大切にしている教育を行っている。	4.04	4.15	0.11
4	学校は、清掃がよく行き届き、きれいである。	4.07	4.21	0.14
5	学校は、生徒の健康や安全に十分配慮した教育活動を行っている。	3.94	4.18	0.24
7	教職員は、保護者や生徒の相談に親身になって応じている。	4.00	4.20	0.2
8	教職員は、接遇やマナーがしっかりしている。	4.19	4.34	0.15

①数値が高くなった原因

- ア No.1「学校は、家庭に学校教育目標や教育方針をわかりやすく伝えている。」については、入学当初において資料を保護者に配付した。また、必要に応じて通知文を保護者に発出した。
- イ No.2「学校は、一人一人の生徒を大切にしている教育を行っている。」については、きめ細かな指導を各学年が行い指導の結果等を保護者に連絡している。
- ウ No.4「学校は、清掃がよく行き届き、きれいである。」については昇降口周辺を業務員がこまめに清掃している。
- エ No.5「学校は、生徒の健康や安全に十分配慮した教育活動を行っている。」については、保健室が中心となり体調不良、けがの発生時の連絡をこまめに行っている。
- オ No.7「教職員は、保護者や生徒の相談に親身になって応じている。」については、担任が中心となり保護者によく連絡を取り家庭に寄り添った対応をしている。
- カ No.8「教職員は、接遇やマナーがしっかりしている。」については、職員がしっかりとした態度で保護者に対応している。

(3) R6年度に比べ数値が減少した項目の中で顕著なもの-0.1以上

No	評価項目	R6	R7	比較
9	学校は、わかりやすい授業を行っている。	3.94	3.67	-0.27
10	学校は、生徒の学力向上に取り組んでいる。	3.91	3.75	-0.16
13	お子さんは、家庭学習をしっかりと行うなど、学力向上に自ら取り組んでいる。	3.78	3.47	-0.31
17	生徒は、規律ある態度(ルール遵守の姿勢・態度、あいさつ、礼儀等)が育っている。(ご自分のお子さんを含めて)	3.97	3.73	-0.24

①数値が低くなった原因

- ア No.9「学校は、わかりやすい授業を行っている。」については学力が定着していない生徒については小学校からわからない内容が多いため、小学校との連携や復習する時間を確保する必要がある。家庭学習では生徒は取り組んでいかない。
- イ No.10「学校は、生徒の学力向上に取り組んでいる。」については保護者に具体的な学力向上の手立てが伝わっていないと考えられるため学力向上の手立てを構築し知らせる必要がある。
- ウ No.13「お子さんは、家庭学習をしっかりと行うなど、学力向上に自ら取り組んでいる。」については、家庭学習の習慣が身につけていないと考えられるため保護者を巻き込んだ取組が必要である。
- エ No.17「生徒は、規律ある態度（ルール遵守の姿勢・態度、あいさつ、礼儀等）が育っている。（ご自分のお子さんを含めて）」については生活規律の身につけていない生徒が多かったことや外出のルール等を守れない生徒が多かったことも一因となっていると考えられる。また、団地の公園内の過ごし方やコンビニ、商業施設での過ごし方についても課題があると考えられる。

(4) 保護者が学校の指導で期待すること。

各項目に対して回答した全保護者の割合を%しめたものです。

No	項目	R6	R7	比較
ア	読み書き、計算などの基礎的な学力	47	46.9	-0.1
イ	英語力	19	20.7	1.7
ウ	体育的技能、能力	8	8.7	0.7
エ	情報活用能力(情報モラル)	19	16.7	-2.3
オ	危機管理能力	22	27.6	5.6
カ	金融・経済に関する能力	16	9.5	-6.5
キ	協調性・コミュニケーション能力	74	59.5	-14.5
ク	集中力	16	19.3	3.3
ケ	創造、クリエイティブ力	8	9.6	1.6
コ	忍耐力、我慢強さ	17	32.8	15.8
サ	表現力・発信力・プレゼンテーション能力	38	49.0	11

①保護者が期待するもので高い数値となっているもの

- ア 読み書き、計算などの基礎的な学力
- イ 協調性・コミュニケーション能力
- ウ 忍耐力、我慢強さ
- エ 表現力・発信力・プレゼンテーション能力

②保護者が期待するものでR6年度に比べ上昇したもの（5.0以上の項目）

- ア 危機管理能力
- イ 忍耐力、我慢強さ
- ウ 表現力・発信力・プレゼンテーション能力

③保護者が期待するものでR6年度に比べ減少したもの（－5.0以下のもの）

- ア 金融・経済に関する能力
- イ 協調性・コミュニケーション能力

5 自己評価、生徒・保護者アンケートから分析した令和8年度に向けての太平中学校の取組について

①自己肯定感の育成について

- ア 成功体験を積ませる。
 - ・学期の反省点の中で課題を語る生徒が多い。
 - キャリア・パスポート等を利用して自己の成長点を把握させる。
- イ あいさつ等の機会をつくる
 - ・明るく元気に学校に登校させる。
 - 笑顔であいさつの徹底（生徒会と連携し活動を考えていく）
- ウ 授業版レインボープランの取組
 - ・生徒会や学年委員会を中心に生徒発信で取り組む。
 - 教師主体ではなく生徒主体の自治的な活動を行う。

②学力の向上について

- ア 小学校と連携した学力向上
 - ・書くこと、読むことの指導の強化
 - ・授業に取り組む姿勢（規律ある態度）の一貫した教育
- イ 太平ゼミ（レインボーアワーの充実）
 - ・生徒への周知徹底
 - ・教員の補習時間の検討
- ウ 主体的・対話的で深い学び
 - ・授業の中で議論（討論）する機会を増やす

③家庭の教育力の向上について

- ア 保護者対象の研修会等の実施
 - ・管理職や外部人材による講演会の実施
- イ 新入生保護者会で「子育て」についてのアドバイス
 - ・「中学校の子育て」の配付
- ウ 教育委員会との連携
 - ・子ども学校保健課、児童相談所、教育センターとの連携
- エ 学校運営協議会と連携した取組
 - ・小中学校合同学校運営協議会の開催